

令和4年度 第3回 二宮町地域公共交通活性化協議会議事要旨

開催日時	令和5年1月27日（金）10:00～11:30	
開催場所	二宮町役場 3階 第1委員会室	
出席者	委員	出席者15名（うち代理出席1名）、欠席4名
	その他	傍聴者1名
	事務局	政策部2名、健康福祉部2名、都市部2名
会議次第	1. 開会 2. あいさつ 3. 議題 (1) 二宮町地域公共交通計画の策定について (2) 二宮町地域公共交通活性化協議会設置要綱の改正について (3) 地域公共交通計画策定に伴うアンケート調査について (4) にの♥バスの利用促進策と今後の検討について (5) 令和4年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について (6) 令和4年度歳入歳出補正予算（案）について (7) 令和5年度歳入歳出予算（案）について (8) その他 4. 閉会	

協議会委員出席名簿

No	氏名	所属	出欠	備考
1	志賀 道郎	二宮町政策部	○	
2	橋山 英人	神奈川中央交通株式会社	○	
3	小嶋 光行	神奈中タクシー株式会社	○	
4	小堤 健司	一般社団法人神奈川県バス協会	×	
5	林 好治	一般社団法人神奈川県タクシー協会	×	
6	小口 愛子	二宮町地区長連絡協議会	○	
7	西山 一雄	二宮町ゆめクラブ連合会	×	
8	齋藤 仁	二宮町PTA連絡協議会	○	
9	高見 利和	一般公募	○	
10	依田 久司	一般公募	○	
11	三橋 裕	国土交通省関東運輸局神奈川運輸支局	○	代理
12	石井 忠孝	神奈川県交通運輸産業労働組合協議会	○	
13	川田 宗弘	神奈川県平塚土木事務所	○	
14	最上 祐紀	神奈川県県土整備局	○	
15	宮嶋 智也	二宮町都市部	○	
16	水川 敏幸	神奈川県大磯警察署	×	
17	吉田 忠司	東日本旅客鉄道株式会社横浜支社	○	
18	梶田 佳孝	東海大学 工学部土木工学科	○	
19	松本 幸生	二宮町健康福祉部	○	

議事概要

1. 開会
2. あいさつ
3. 議題

◎は会長、○は委員、●は事務局の発言

・ 議題（１）二宮町地域公共交通計画の策定について

◎事務局としては、計画はにの♥バスを中心とした内容とする予定でしょうか。

●地域公共交通計画は、地域交通に関するマスタープランですので、鉄道や民間路線バス等も含めた内容とする必要がありますが、事務局としては、目下最大の課題はバス停までの歩行も困難な高齢者等の方々が生活の足を確保できていないことであると想定しているため、いわゆる「葉の交通」に注目した計画とすることを考えています。

◎他に特に意見がなければ、事務局案のとおり二宮町地域公共交通計画を策定することとしたいと考えますが、よろしいでしょうか。

（異議なし）

◎承認いただきました。

・ 議題（２）二宮町地域公共交通活性化協議会設置要綱の改正について

○現状の協議会設置要綱の中では、書面開催の場合に道路運送法上の「協議が調っていることの証明書」を発行できることが明文化されていないため、今回の改正に併せて、可能であれば明文化をご検討ください。

●要綱の条文を精査し、検討させていただきます。

◎他に特に意見がなければ、事務局案のとおり協議会設置要綱を改正することとしたいと考えますが、よろしいでしょうか。

（異議なし）

◎承認いただきました。

・ 議題（３）地域公共交通計画策定に伴うアンケート調査について

○３点意見させていただきます。

①公共交通は、自動車に乗れない人のためにあるべきものだと考えるので、無作為抽出アンケートの構成を「自動車の利用者用」「自動車を利用しない人用」に分けてしまった方が、質問の分岐が多い複雑な現状の構成よりも、はっきりと意見の違いを浮き上がらせることができると思います。

②無作為抽出アンケートの「質問 20」に、にの♥バスに係る運行経費に 1,200 万円ほどの税金が投じられている旨の記載がありますが、にの♥バスに馴染みのない方からすると額の大きさに目が行ってしまい、回答にバイアスがかかってしまうおそれがあると考えます。

③にの♥バス利用者向けアンケートについて、A 4 一枚の分量でも利用者層に年配の方が多いことを考えると、用紙に記入させるよりも、直接職員が聞いていく方が回収率を上げることができると思います。

●①「普段は自動車を利用するが時々公共交通も利用する」という方も一定数いることを考えると回答者を綺麗に 2 つのグループに分けることは困難と思われ、また 2 種類のアンケートを同封すると両方とも答えられてしまう等の混乱も予想されるため、現状ではアンケー

- トを2種類とすることは難しいと考えています。ただし、御指摘の通りアンケートに質問の分岐が多いと内容が分かりにくくなってしまうため、その点は工夫させていただきます。
- ②現状のところ、御指摘のあった「質問 20」をにの♥バスの必要性を問う質問から、現状の定時定路線型交通と新しいデマンド型交通のどちらが望ましいか等を問う質問に変更することを考えています。新しい質問内容の検討にあたっては、回答者にバイアスを与えないよう注意させていただきます。
- ③御指摘の通り直接聴き取りを行った方が効率的なケースも考えられるため、初めから全員に対して用紙に記述いただくのではなく、柔軟な対応を取らせていただきます。
- 2点意見させていただきます。
- ①無作為抽出アンケートの冒頭に「地域公共交通」の解説が記載されていますが、馴染みのない方にも分かりやすい記載とすべきと考えます。
- ②無作為抽出アンケートの修正の方向性に関して、福祉的な視点を含めた交通施策には、住民主体のボランティア送迎も含まれるのではないかと思うので、その点も考慮して、住民と一緒に考えていけるようなアンケートを作る必要があると思います。
- ①より多くの方にアンケートに回答いただくためにも、分かりやすい説明とすることは重要と考えますので、記載内容を見直します。
- ②地域公共交通計画は、従来のバスやタクシー以外にも住民主体のボランティア送迎等の輸送資源も含めた網羅的な計画とすることが国から求められているため、アンケートの作成にあたっては、ボランティア送迎に言及することも検討させていただきます。
- にの♥バス利用者向けアンケートについて、直接利用者に聞かれるのであれば、「利用頻度」と「満足度」も組み込むべきと思います。
- 2点とも重要な要素だと思いますので、追加を検討します。
- 2点質問させていただきます。
- ①無作為抽出アンケートについて、1,000名の対象者はどのように抽出を行うのでしょうか。
- ②今回各アンケートについて意見照会を行うそうですが、意見照会を踏まえた案については今後共有いただいて再度内容について検討するような機会はあるのでしょうか。
- ①地区・年齢等の属性が分散するように抽出方法を検討します。
- ②意見照会を踏まえた修正後、再度委員の皆様に御確認いただき御意見をいただく機会を設けさせていただきます。
- 本議題に関連して、ここ半年ほど町内を移動する際は自家用車を使わず、民間路線バス、にの♥バス及びタクシーのみを用いて移動することを試してみたいため、その経験で得た所感、意見について共有させていただきます。
- ・町内の移動は各公共交通を組み合わせれば、多少の手間は掛かるものの自動車が無くても十分に可能ということが分かりました。
 - ・神奈中タクシーは、朝の時間帯だと前日では予約ができないことが多くあります。
 - ・神奈中のバスについては、インターネット上にバス停ごとの時刻表が公開されているため、これを確認すれば、駅前のバス停等をハブにしてバスを乗り継ぐ形で町内を移動する計画を立てることができました。ただし、パソコンやスマホ等が使えない高齢者には、このような計画を立てることは難しいと思います。
 - ・にの♥バスについては、実際に利用しながら状況を見てみると、自動車が利用できない高齢者の買い物に使われている例が最も多いように思われるため、子どもへの啓発等よりも、高齢者の買い物利用をいかに増やすかに注力すべきと考えます。
- 神奈中タクシーについては、乗務員が高齢化しており、二宮営業所では6割程度の充足率と

なっています。現在採用を強化しているため、徐々に改善するとは思われますが、御意見は営業所にも伝えさせていただきます。

◎他に特に意見がなければ、事務局案のとおりアンケートの作成を進めることとしたいと考えますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

◎承認いただきました。

・議題（４）にの♥バスの利用促進策と今後の検討について

○「にの♥バスをどうやって使ってもらうか」という発想ではなく、「にの♥バスをどのような人が何のために必要としているか」を踏まえて、必要とする人たちにサービスが届くように運用すべきと考えています。議題（３）でも意見として述べさせていただいたとおり、現在の♥バスは高齢者の買い物の足としての利用が多いため、子どもの利用者数が少ないことは必ずしも悪いことではないと思われ、子どもへの啓発に注力するのは少し的がずれていると考えます。

○二宮西中学校に通学している生徒が多い百合が丘地区に在住していますが、現在の♥バスの運行時間帯では登下校時間に合わず、啓発を行っても生徒の利用はそれほど見込めないと思います。むしろ、PTAの用事等で学校に向かう保護者の方には需要があるかもしれません。

●にの♥バスの朝便と夕便は、他の時間帯と異なり町内を一周しない運行経路となっていますが、これはダイヤを決めた当初、二宮西中学校の保護者の方から要望があり設定したという経緯があるもので、実際にコロナ禍前は多い年には年間1,900人程度の子どもの利用がありました。しかしながら、直近の令和3年では180人と10分の1以下まで減少してしまっているため、今後策定する地域公共交通計画の中で、中学生だけでなく保護者の方にも利用いただけるよう、中学校にも意見を伺いながら検討を進めさせていただきます。

◎過去には子どもの利用が多く、現在は減ってしまったのであれば、コロナ禍の影響で利用を控えていた可能性も考えられるため、中学校への啓発にも意義はあると考えます。また、現在の利用者の中心である高齢者への啓発は重要ですので、特に①は力を入れていただきたいと思います。

◎他に特に意見がなければ、事務局案のとおり利用促進策を実施することとしたいと考えますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

◎承認いただきました。

・議題（５）令和４年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について

◎特に意見がなければ、事務局案のとおり事業評価としたいと考えますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

◎承認いただきました。

・議題（６）令和４年度歳入歳出補正予算（案）について

◎特に意見がなければ、事務局案のとおり補正したいと考えますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

◎承認いただきました。

・議題（7）令和5年度歳入歳出予算（案）について

◎特に意見がなければ、事務局案のとおり予算を決定したいと考えますが、よろしいでしょうか。

（異議なし）

◎承認いただきました。

・議題（8）その他

●事務局より、2点情報提供させていただきます。

①精神障がい者への割引適用について

・この♥バスにおける精神障がい者への割引適用について、当初開催通知をお送りした際には議題として挙げさせていただいておりましたが、ラディアン等他の町の施設では割引適用のための条例改正が未了であることから、町全体で足並みを揃えるため、今回の協議会で議題とすることは見送り、6月の令和5年度第1回協議会に議題を挙げさせていただきます。

・なお、割引は令和5年10月から適用の予定ですが、令和5年度第1回協議会で協議し、その後協議が調っていることの証明書をもって国に届出を行うスケジュールで十分間に合うと考えております。

②令和4年10月～12月のこの♥バスの利用状況について

・議題（5）で令和4年9月までのこの♥バスの利用状況については報告させていただきましたが、ルート改編後の10月から12月の利用状況について簡単に報告いたします。

・1日あたり乗車人数で見ると、令和4年6～9月が88.2人～91.4人とかなり多かったのに対し、10～12月は82.4人～82.7人と、昨年度以前と比べれば高い水準であるものの、直近の6～9月と比べると少なくなっています。過去5年間の1日あたり乗車人数の推移を見ても、6～9月が毎年必ず高くなっているわけではないので、増加の原因はまだ把握できておらず、今後検証を続けていきます。

・乗降者数の合計が多いバス停・少ないバス停の順位で見ると、ルート改編以後、新設された県営団地入口バス停は4番目から5番目に利用者の多いバス停となっています。県営団地入口の利用者が伸びると同時に、団地中央の利用者が大幅に減少しているため、団地中央を買い物で利用していた方が県営団地入口に流れたものと思われます。

・また、全体としては、交通結節点である二宮駅北口、富士見が丘地区の各バス停、商業施設や病院に近いバス停で利用者が多かったのに対し、幹線道路上にあり神奈中バスの方が利便性の高いバス停や釜野地区内のバス停は利用者が少ないことが分かりました。

◎令和4年6～9月に利用者が増えた原因は、神奈川中央交通さんの方で把握しているでしょうか。

○特に集計方法の変更等を原因に増減しているのでもなく、把握できておりません。

◎増えた年齢層等についても分析いただければと思います。

○10月以降利用者が減っているのは、整理券の発行機が故障していた時期があったため、その影響ではないでしょうか。

●1日あたり乗車人数のデータは、支払われた料金の額や回数券の数から算出しているため、正確性は高いものと思われます。

○富士見が丘地区の利用者が多いのは、2便で中里や県営団地入口に向かい、1時間ほど買い物をし、3便で富士見が丘地区に帰ってくる方が非常に多いためだと思われます。この時間

帯のバスは満員になっていることも多くあります。

- 富士見が丘地区では、事務局と地区で協力して作ったにの♡バスを利用する買い物スケジュール表を回覧しており、このような地道な努力が実を結んだ結果とも言えます。今後も地区と協力しながら、現在利用者が少ない地域も利用者が多くなるよう、努めていきます。

以上